

水稲栽培にとって良い苗を作ることは収量を確保するうえで大変重要です。近年の天候不順等により収量の確保が不安定な傾向にあります。天候に左右されない稲を作るため、積極的な土づくり資材の投入と、より良い種子を準備することにより、移植後の初期生育の確保に繋がります。

種子の準備

汚染率の高い種もみは使用せず、種子更新をしましょう。



塩水選処理

塩水選で比重の大きい中身の詰まったより良い種子を準備しましょう。

●濃度の目安(水10ℓあたりkg)

	比重	食塩	硫酸
うるち	1.13	2.01	2.56
もち	1.08	1.22	1.50

●新鮮な生卵による塩水比重の調整法



比重1.13は水面上に卵が10円玉位の大きさに出る程度

※塩水選後は、籾の塩分を除かないと発芽障害を起しますので、必ず水洗い作業を丁寧に行いましょう。

種子消毒処理

温湯消毒	種籾を60～62℃の温湯に10分間浸漬した後、直ちに流水中で冷却する。 ※安定した効果を得るために浴比は種籾1：お湯20以上で行う。			
薬剤防除	品名	病虫害	濃度	時間
	テクリードCフロアブル	ばか苗病・いもち病 もみ枯細菌病・苗立枯細菌病	200倍(水10ℓに50ml)	24時間 浸漬
スミチオン乳剤	イネシガラセンチュウ	1000倍(水10ℓに10ml)		
微生物防除 (環境こだわり農産物)	品名	病虫害	濃度	時間
	エコホープDJ	ばか苗病・いもち病 籾枯細菌病・苗立枯細菌病	200倍(水10ℓに50g)	24時間 浸漬

イネシガラセンチュウ対策

▶ エコホープDJおよびテクリードCフロアブルはイネシガラセンチュウに効果がないので防除を行う場合は「スミチオン乳剤(1000倍)」を混用使用します。

※複数品種を扱う場合は、網袋に印をつけるなど品種が混合しないようにしておきましょう。



玄米への被害と葉の病徴

タッチすると



各支店にある
農業電子図書館を
使ってみよう!!



画面拡大

JAでは、病虫害や雑草、農薬などの情報が簡単に検索できる情報端末「農業電子図書館」を各支店、経済センターに設置し、窓口相談等、組合員サービスの向上を図っております。病虫害、雑草農薬の検索はもちろん、その他、様々な情報をタッチパネル方式により検索できますのでご活用下さい!!

